

Ensemble Caelestis presents 古楽コンサート

テレマン没後260年に寄せて パリ四重奏曲 全曲演奏会

1767年に86歳の天寿を全うしたテレマンは、その長い生涯の間に4000曲以上の曲を書き上げましたが、その中でも1737年、フランスの名手たちにパリへと招かれた際に、彼らと演奏するために携えて行った「新しい四重奏曲」はその規模、技巧、音楽性からも最高傑作と言って良いでしょう。今日「パリ四重奏曲」と呼ばれているこのテレマンの大作全6曲を、2回に分けて演奏いたします。



相川 郁子 (Flaut traverso) 今 卓也 (baroque Violin) 折原 麻美 (Viola da gamba) 山口 範子 (Cembalo)

第1回 2026年7月12日(日) 第1番～第3番
第2回 2027年3月14日(日) 第4番～第6番

14時30分開場 15時00分開演

Space 415 中野区新井2-48-12 中野駅北口下車 徒歩12分

各回全席自由 4000円 (お茶菓子付き)

主催: Ensemble Caelestis

<http://ameblo.jp/takuya1612/>

お問い合わせ、ご予約: 今 卓也 090-9240-9946 franztak@gmail.com

《出演者》

相川 郁子 Flauto traverso

12歳でモダンフルートを始める。上智大学大学院修士課程修了(心理学)。フラウト・トラヴェルソを前田リリ子氏に師事し古楽器に転向。ブリュッセル王立音楽院にてB.クイケン、F.トウンスの各氏に師事する。現在はバロックとルネサンスの音楽を中心に、室内楽やオーケストラで演奏活動続ける。

所属アンサンブルは、ソフィオ・アルモニコ、レ・ゾルフェ、アンサンブル・イレーヌ、イネガリテ等。OVW室内楽シリーズの2017年、2023年日本ツアーに参加。自主企画公演も多く行っており、歴史と関連づけたコンサートに定評がある。

今 卓也 baroque Violin

1958年東京生まれ。6歳よりヴァイオリンを故清水章央氏(NHK交響楽団)に師事。その後札幌にて故北本和彦氏、大澤昌孝氏(元東京フィル コンサート・マスター)、1993年より藤原浜雄氏(元読響ソロ・コンサート・マスター)に学ぶ。フリー奏者としてオーケストラ、室内楽などの分野で活動。また2005年よりバロック・ヴァイオリンを小野萬里氏、寺神戸亮氏、赤津眞言氏、ジャズを寺下誠氏に師事し、マルチ分野でのヴァイオリンの演奏活動を展開中。

古楽アンサンブル「Ensemble Caelestis」代表。

折原 麻美 Viola da gamba

国立音楽大学音楽文化デザイン学科(音楽学)卒、同時に有馬賞受賞。在学中ヴィオラ・ダ・ガンバを始め、卒業後渡欧。ブリュッセル王立音楽院古楽器科にて学部、修士、研究科を優秀賞付きで修了。ヨーロッパ各地における音楽祭出演他、数々の招聘演奏を行う。帰国後は、ルネサンス〜バロック音楽を中心に、ジャンルを越えて楽器の魅力を発信。

AYAMEアンサンブル・バロック、デュオ・ルーリーのメンバー。墨田区主催2019年度「演奏家の船出コンサート」グランプリ。アイゼナハ音楽院講師。

山口 範子 Cembalo

東京藝術大学卒業。同大学院修了。チェンバロを鈴木雅明、中野振一郎、オルガンは今井奈緒子の各氏に師事。藝大安宅賞。第9回古楽コンクール第3位。東京・春・音楽祭、横浜山手芸術祭、横浜古楽まつりなど多くの音楽祭に参加。堺・チェコ文化交流事業にてプラハの室内管弦楽団「ブラガ・カメラータ」と共演し好評を得る。現在チェンバロとオルガンのソロ、通奏低音奏者として関西、北陸地方で活動続ける。

バロックアンサンブル「Sankt」「ムジカメンティス」メンバー。YouTubeチャンネル「Duo Primevère」開設。エコール・ヨコハマ チェンバロ講師。



⑥ 約100m先左側 (児童館手前)

⑤ 二本目の角を左折 (角切りに沿って)

④ 体育館の次の信号を右折

③ 中野体育館信号を左折

② 左手のエスカレーター / 階段を登る

① 中野駅北口下車

Space 415

声野豊・ゆり子
〒165-0026
中野区新井
2-48-12
電話03-5380-2430

